

音楽館 ガイドライン

音楽館企画内容

・音楽館（7号館・5号館）及び屋外ステージ、体育館での演奏、公演

*、平潟祭開始の10時～17時まで行う

・音楽館（7号館・5号館）

各棟で1団体1部屋を貸し出し、教室内で演奏を披露

・屋外ステージ

オープンチャーチに屋外ステージ・音響設備を設置し、

音楽団体は振り分けられた時間内で演奏・公演を行う

・体育館

体育館内に客席・ステージを設営し、公演を披露する

・参加団体

音楽館

屋外ステージ

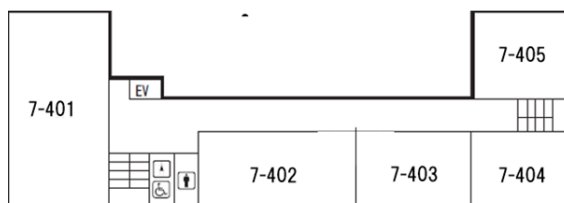
体育館

SCC

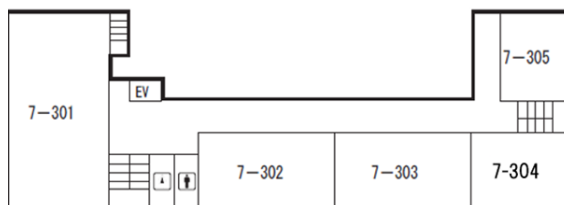
7号館・5号館利用ガイドライン

部員：音楽団体

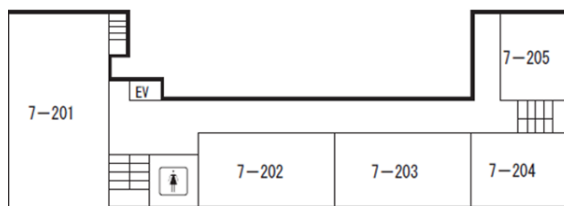
委員：平潟祭実行委員会



3F



2F



5-501



7-107



7-201.301.401



ライブ会場予定教室

7-107

7-202.203.

7-302

7-402

5-101

控室予定教室

7-201

7-204.205

7-301

7-401

カフェポンド

※団体の希望によって変更有

- ・自身が新型コロナウイルス感染症と診断された場合及び濃厚接触者と判定された場合は保健所が指定した期間登校しない。
 - ・自宅で検温し 37.5 度以上の発熱、咳などの風邪症状がある場合、その他の症状として息苦しさ、強いだるさ、味覚障害・嗅覚障害を認める場合は登校を控える。
- なお、風邪症状の発症後少なくとも 8 日が経過し、かつ登校日より前 3 日間以上風邪症状がない場合において初めて参加可能となる。
- ・参加者や関係者が体調不良を申し出た場合、濃厚接触の疑いがある場合には、必要な検査の受診を勧める。

【来場者向け対策】

- ・入場口や各教室出入口に消毒備品等を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する
(張り紙での周知、委員会の呼びかけなど)
- ・座席や利用場所の配置を工夫し、人と人との間隔 (2m) を確保する
- ・張り紙や会場での呼びかけを行い、利用者に対し手洗い・消毒に加え、大声の会話を慎むよう周知する
- ・複数の人が使用する場所 (トイレ・椅子・机など)、手や口が触れるようなものをこまめに消毒する
- ・チラシや販促品等は、手渡しではなく 据え置き方式で配布する
- ・教室前に名簿を設置し、学生証を持ってないひとは記入する
(電話番号、住所等の個人情報の入手に関しては検討中)

【参加者 (音楽団体) 向け対策】活動中における対策

- ・各教室 (控室含め) CO₂濃度測定器の設置
- ・二酸化炭素濃度計を基準に換気を行う (1200ppm になった時点で換気をする)
- ・次亜塩素酸の空間噴射器を設置し、空間を除菌する。

事前準備

- ・参加者に不織布マスク着用を徹底する (本部で予備の用意)
- ・2 週間前から部員に検温や体調確認をさせ、毎日の報告を徹底する
(Google フォームにて本部で一括管理、提出していない部員は参加不可)
- ・演者と観客の接触 (観客をステージに上げる等) を回避する呼びかけを行う
- ・出席確認システムを使用し、各部員の行動履歴を追う
(入口に部員を設置し、出席確認システムへのタッチを促す)
- ・30 分の演奏ごとに 15 分休憩をはさむ
 - ・休憩時間には委員が立ち会い、換気・各備品の消毒をチェックする

- ・各団体、教室で行うライブのタイムテーブルを提出し本部で確認する
- ・換気の際、扉や窓などを開けた上で、扇風機やサーキュレーター等を外部に向けて使用する（換気備品は本部で各教室に用意する）
- ・教室は入場と退場を一方通行にする。出入口に部員を設置し、誘導する
- ・各教室の出入り口に消毒液を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する
- ・部員間で、できるだけ 2m の距離を保てるよう、人員配置に配慮（人員は必要最小限）
- ・ステージにいる出演者と観客との間にフェイスカーテンを設置する（本部で用意する）
- ・常時空気清浄機を使用する。

公演中

- ・演奏者以外不織布マスクを必ず着用させる
- ・観客は着席し、大声での歓声・声援・歌唱・演者との接触をしない
- ・二酸化炭素濃度計が 1200 p p m を超えていたら、演奏途中でも換気を行う

休憩時間

- ・換気の中、扉や窓などを開けた上で、扇風機やサーキュレーター等を外部に向けて使用する（換気備品は本部で各教室に用意する）
- ・教室内のドアノブ・手すり（不特定多数が触れる場所）の消毒を行う
- ・不特定多数の人間が触れた場所を触った場合、手で絶対に顔や目、口を触らず、手洗いや手指消毒を行う
- ・教室内で飲食をしない
- ・教室内に来場者を入れない

客席

- ・前方の客席スペースを使用禁止にする（ステージから 2m 開ける）
- ・各教室の来場人数は会場定員 50% 以下をとし、来場者には公演中も不織布マスクを着用するよう呼び掛ける（本部・生活課からの指示により変更有）
- ・客席は距離をあけて設置する
（席は 1 席ずつ間隔をあけ、前列後列で交錯しないようにする）

控室（消毒・換気は委員が行う）

・飲食禁止

- ・座席間のスペースを十分に取り、常時換気を実施する。
- ・部員同士が共有する物品や、手が頻繁に触れる場所をなるべく減らす
- ・共有を避けることが難しい物品等（テーブル、椅子等）は 定期的な消毒を実施する
（除菌シートを設置し、使用したものは退出前に自分が触った場所を除菌シートで拭く）

- ・控室に 入退室する前後の 手洗い・消毒を徹底する
- ・張り紙を通し、黙食を周知する

【感染者発生時に向けた対応】

- ・万が一、感染者や感染の 疑いがある者が発生した場合、速やかに対応できるよう、 所轄の保健所との連絡体制を事前に確認する
- ・濃厚接触者や来場者等に、後日 連絡や情報提供ができるよう、来場者の氏名・連絡先（電話番号・メールアドレス等）について、生活科との連携により把握に努める
- ・入手した個人情報、 目的外で使しないことや 一定期間後に 削除することを徹底する

各教室の割振り、収容人数、タイムテーブルについて

*収容人数・タイムテーブルに関して、今後の社会情勢によって変更有
ライブ会場予定教室

教室	収容人数	部	部員数
7-107	230 人		
7-202	45 人		
7-203			
7-302			
7-402			
5-101	75 人		

教室内タイムテーブル

- ・各団体、1 バンドの演奏時間は 30 分以内とし、その後 15 分休憩時間を取る
- * 休憩時間で教室内の換気と消毒を行う
- * 各団体活動できていないため、現時点でのタイムテーブルとなり、今後変更有
- * 換気時間、タイムテーブルの変更を行う可能性有

屋外ステージガイドライン

事前準備

- ・参加者に不織布マスク着用を徹底する（本部で予備の用意）
- ・2週間前から部員に検温や体調確認をさせ、 毎日の報告を徹底する
（Google フォームにて本部で一括管理、提出していない部員は参加不可）
- ・演者と観客の接触（観客をステージに上げる等）を回避する呼びかけを行う

客席



- ・ステージ最前から2メートル以上離れた位置から客席を設置
- ・席と席の間は養生テープと張り紙で座れないことを周知する（計70席予定）
- ・両端にコーンバーを設置し、規定人数以上の観客が入らないように管理する
- * 入退場の誘導は委員が行う
- ・観客退場時に席の消毒を行う

公演中

- ・演奏者以外不織布マスクを必ず着用させる
- ・観客は着席し、大声での歓声・声援・歌唱・演者との接触をしない

転換中

- ・演奏が終わったバンドメンバー、音響をお願いしている企業と協力し転換・消毒作業を行う（最低人数で行う）

体育館ガイドライン

- ・演奏者以外マスクを必ず着用させる
- ・観客は着席し、大声での歓声・声援・歌唱・演者との接触をしない
- ・観客席を用意する。(間隔は1m以上開ける)
- ・ステージ最前から2メートル以上離れた位置から客席を設置
- ・客席間を1.5m以上開けて設置する
- ・出入口や窓、扉などを開け、常時換気を行う
(サーキュレーターを手配する予定)

公演後

- ・公演後各席の消毒を行う(委員と体育館使用団体で行う)
- ・体育館内の扉は開放し、常時換気を行う
- ・入口出口を一方通行にする
- ・出入口に消毒液を設置

公演中・公演後

- ・公演者・観客どちらも声を上げない
- ・公演以外での利用はせず、公演が終了後すべての客席の消毒を行う

参考文献

- ・ライブハウス・ライブホールにおける 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
令和2年9月25日改訂 /一般社団法人ライブハウスコミッション・NPO 法人日本ライブハウス協会・日本音楽会場協会/ [【改訂版】ライブハウス-業界ガイドライン_0925_3.pdf \(j-livehouse.org\)](https://www.j-livehouse.org/_0925_3.pdf) /2021.5.30 閲覧
- ・新型コロナウイルス感染症対策 ～「換気」について～/作成:愛媛大学危機対策本部(BCP検討WG) 協力:愛媛大学施設基盤部 /https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/corona_kanki.pdf /2021.5.30 閲覧
- ・関東学院大学新型コロナウイルス感染予防等のガイドライン(Ver.9) /[新型コロナウイルス感染予防等のガイドラインについて\(2022年4月1日 Ver.9\)](https://www.kyokai.ac.jp/_0925_3.pdf) /2022.4.23 閲覧
- ・東京都 感染拡大防止 ガイドブック 事業者向け「新しい日常」の定着に向けて〈ライブハウス編〉/2021.6.27 閲覧
https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/008/459/kousin/1030-20.pdf